

こんどうだいぶつ ざぞう
金銅大仏坐像



■ 指定年月日
昭和48年10月1日

■ 所在地
銚田市借宿

■ 年代
室町時代

像高1.0m。平成13年の調査では、印相が法界定印といい、釈迦如来像に多い形である。このことから、元は阿弥陀如来像で修理時に直したのではないかと推測される。胴体は室町時代の特徴の造りだが、頭部は新しいものである。

もとは、谷津を挟んで反対側にあった大日像の中腹にあったが、戦後吉祥寺へ移されたものである。